

平成19年度 日進町こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	日進町こども文化センターの管理運営に関すること 川崎小学校・京町小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況	<p>施設の運営に関する職員体制に関すること</p> <p>①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。 ②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。</p>	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	指定管理者制度を視野に入れ、安全かつ潤いある健全なこども文化センター作りを目指しました。運営協議会を中心とした地域のニーズに沿う事業展開を継続し、信頼と融和のある地域館作りの方向性を見出すことができました。また、定期的にこども会議を開き、こども視点の事業展開も実施できました。川崎福祉センター諸機関と連携し、子育て支援活動へ協力しました。意見箱を設置した。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。
サービスの提供に関すること	福祉センター内にある当館の特性を生かした地域のニーズに適合した事業展開を実施しました。また、単発で共同テレビの撮影依頼への地域児童の協力、大学生のサークル団体の希望によるミュージカル発表会を開催した。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。地域のニーズに合わせた事業の実施に努めていた。

事業の実施に関すること	複合施設であるという環境を生かし幼児サークル・障害児サークル・地域児童・高齢者など、総合的な参加型行事を実施しました。	複合施設による多様な利用団体のニーズに合わせた事業の実施に努めていたことは評価できる。今後も、ボランティアの活用に努めること。
個人情報の取扱に関すること	入館時に来館者名簿に記入。参加行事受付時に受付名簿に記入・記載。わくわくプラザ登録児童名簿を保管・管理。以上、財団法人かわさき市民活動センター個人情報保護方針に基づき実施しました。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関すること	児童が利用する施設の安全管理・遊具等の保全管理について職員会議等にて職員相互の意思疎通の向上を得、安全確保を図りました。また、来館児童や利用者に対し遊び方への配慮、及び注意事項を周知することで安全確保に努めました。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。また、川崎小学校、京町小学校わくわくプラザにセンサーライトを設置し、より安全性を高めていたことは評価できる。
(2) 利用状況		
①こども文化センター	延べ利用者数 16,527人 延べ団体利用数 3,581団体 こ文シアター こ文まつり 2007 (特色のある行事) 収穫感謝祭	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	1 川崎小学校わくわくプラザ 登録者数 178人 延べ利用者数 13,365人 (主な行事等) お誕生日会 ドッヂボール大会 (特色のある行事) アイロンビーズ作り 2 京町小学校わくわくプラザ 登録者数 241人 延べ利用者数 14,571人 (主な行事等) いきいきクラブ カレー昼食 (特色のある行事) ハンドベル演奏会	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況		評価及び指導																			
(3) 収支状況																						
① 収支状況	<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tbody> <tr> <td>収入 指定管理料</td> <td>45,523,226</td> </tr> <tr> <td>支出 人件費</td> <td>43,646,984</td> </tr> <tr> <td> 管理費</td> <td>1,603,786</td> </tr> <tr> <td> 事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td> その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>50,210,604</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>▲ 4,687,378</td> </tr> </tbody> </table>	収入 指定管理料	45,523,226	支出 人件費	43,646,984	管理費	1,603,786	事務経費	1,937,847	その他経費	1,436,042	青少年事業資産取得支出	909,090	減価償却引当資産取得支出	40,492	第1回精算に伴う返納金	636,363	合計	50,210,604	差引	▲ 4,687,378	<p>臨時職員賃金の増等により単館では支出が上回ったが、55館全体での指定管理料内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。</p>
収入 指定管理料	45,523,226																					
支出 人件費	43,646,984																					
管理費	1,603,786																					
事務経費	1,937,847																					
その他経費	1,436,042																					
青少年事業資産取得支出	909,090																					
減価償却引当資産取得支出	40,492																					
第1回精算に伴う返納金	636,363																					
合計	50,210,604																					
差引	▲ 4,687,378																					

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。